

2025 年 8 月 4 日  
みずほ証券株式会社

## 国内初のICMA「ネイチャーボンドガイド」に準拠した フレームワーク策定支援について

みずほ証券株式会社（取締役社長：浜本 吉郎、以下「みずほ証券」）は、ストラクチャリング・エージェントとして、名古屋市が国際資本市場協会（ICMA）策定の「Sustainable Bonds for Nature: A Practitioner's Guide」（以下「ネイチャーボンドガイド」）に準拠したフレームワークを策定するにあたり、その支援を行いました。本件は、ネイチャーボンドガイドに準拠した国内初のフレームワークとなります。

2022 年 12 月に開催された生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）では、2030 年までに自然の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」を目指し、昆明・モントリオール生物多様性枠組（GBF）が採択されました。ネイチャーボンドガイドは、その目標達成に向け、自然および生物多様性の保護・回復を目的とした資金調達を促進するための実務者ガイドとして、2025 年 6 月 27 日に ICMA から発表されました。

名古屋市は、第 4 次環境基本計画における重点取り組みの一つとして「自然や水を活かした、人と生きものにやさしいまちづくり」を掲げており、生物多様性条約第 10 回締約国会議の開催都市にふさわしい、自然が身近に感じられ、潤いのあるまちづくりを進めています。今般、希少な動植物の研究や、動植物の展示を通じた環境教育を行う東山動植物園の再生整備事業を、ネイチャーボンドガイドにも準拠したプロジェクトとしてフレームワークの資金使途の一つに設定しました。

みずほ証券は、本件をはじめ、国内 SDGs 債における数多くの初案件をストラクチャリングしてきた実績があります。今後も、サステナブルファイナンスの支援や引受業務の推進をはじめとして、お客さまの抱える環境・社会課題等への取り組みをサポートし、環境・経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献していきます。

（ご参考）名古屋市：フレームワーク及び第三者評価機関による評価書  
<https://www.city.nagoya.jp/zaisei/page/0000188781.html>

以 上